

令和7年度 都立上水高校における教科指導の重点

重点科目	重点課題	取組	発展的取組
国語	・主体的・対話的な深い学び ・学力分析を踏まえた組織的な指導	・定期的に教科会を開催し、指導方針を常に共有する。 ・言語文化において少人数指導を実施し、日本の古典への興味関心を養う。 ・小テスト及び課題をきめ細かく実施し、生徒の家庭学習を充実させる。	・アクティブ・ラーニング推進への取り組みを踏まえ、主体的・対話的で深い学びを実現させる。 ・ハイスクールオンライン等のデータを教科で共有し、学力分析を実施し、授業に反映させる。 ・文系進学希望者の進路第一志望決定率の向上をはかる。
地理歴史 公民	・主体的な学習を支援する取り組み ・進路希望実現への指導	・ICTを積極的に活用し、生徒の興味・関心を引き出す授業を実施する。 ・課題を通して、生徒の家庭学習時間を充実させる。 ・社会の問題への興味を持ち、自ら主体的に考える態度を身につけるよう指導を行う。	・長期休業中の講習等を通して、生徒の進路希望実現のための実践力の育成に努める。 ・模擬試験の結果を分析し、大学受験に対応できる学力をつけられるよう、授業改善に取り組む。
数学	・生徒の実態を踏まえた指導 ・学ぶ喜びを通じた学力の向上	・学力分析等を通して、生徒の実態を把握する。 ・教科会、研究授業、相互授業観察をすることによって授業の改善や工夫を行い、生徒の学力を向上させる。 ・自宅学習を促す授業を推進することによって継続的学習能力を高め、学ぶ喜びを実感させる。	・理系進学希望生徒対象の夏期講習を実施し、空き時間や放課後等の補習を行う。 ・小テスト・課題提出を実施し、その結果をきめ細かく分析し、生徒一人ひとりの学力に応じた指導に活用する。
英語	・主体的・対話的な深い学びの実践 ・コミュニケーション能力の向上	・定期的に教科会を開催し、指導方針の共有、授業改善を行う。 ・少人数、習熟度別授業を通して生徒一人ひとりの学力に応じた指導を実践する。 ・発表活動を通じ、表現力を養う。	・夏期講習や放課後の補習を通じ、基礎学力の定着および実践力を育成する。 ・スピーチ・レシテーションコンテストを開催する。 ・年3回、英語検定実施に合わせた対策指導を行う。 ・JETや、ALTとのチームティーチングを充実させる。
理科	・主体的な深い学びの実現 ・進路希望実現へのきめ細かい指導	・定期的に教科会を開催し、新学習指導要領を踏まえた主体的な学びを実現するため組織的に取り組む。 ・宿題・課題、小テストの回数を充実させ、家庭学習時間を増やす取り組みを理科全体で実施する。	・定期考査や小テストの結果を分析し、教材や教授方法の検討をきめ細かく行う。 ・理系へ進学を希望する生徒を対象に、夏期講習を実施する。 ・一人ひとりの能力や特性に応じた課題を設定し、進路希望の実現をサポートする。
保健体育	・基礎的な体力・技能向上、健康への深い理解を主体的に追究させる ・コミュニケーション能力の向上	・ICTを活用した授業により、生徒の興味・関心を引き出す ・ペア・グループ活動を積極的に取り入れ、コミュニケーション能力を高める。 ・各実技種目に関わる補強運動を取り入れ、体力・技能向上させる。 ・タブレットPCを活用し、動作確認や調べ学習などを	・生徒の主体的な取り組みにより、種目の特性に応じた体力・技能の向上をさせる。 ・発展したプレゼン、発表を通して、表現力を高める。 ・タブレットPCを高度に活用し、動作解析、プレゼンなどを行い、自分だけでなく、他者の技能やコミュニケーション能力を高められるようにする。
芸術	・本物に触れる、本物を知る、本物を目指す ・豊かな感性を伸ばす指導	・美しいものを美しいと感じる力を養う。 ・主体的に自己表現できるよう、少人数での活動を取り入れる。 ・表現を通して学ぶ喜びを味わうことができるよう、適切な指導助言を行う。	・感じたことを発信したり、演奏を発表したりする活動に対し必ずフィードバックを行い、高次の段階での表現活動を実現する。 ・個々の能力や特性に応じた課題設定を行い、生徒一人ひとりの感性の伸長を図る。
情報	・デジタル技術を活用したコミュニケーション能力の育成や課題解決力の育成	・ICTを積極的に活用し、生徒の興味・関心を引き出す授業を実施する。 ・課題を通して主体的に学習に取り組む態度の育成、授業外学習時間の増加を図る。 ・グループ活動を多く取り入れ、コミュニケーション能力を高める。	・「10年後の未来像」をデザインさせ、その課題を通してそれを実現するために何をすべきか考える意識づけをする。 ・自分たちで考えた疑問やテーマを表現していく映像作品を作成する。 ・グループ発表やPCを用いた個人発表を通して表現力を高める。
家庭	・課題解決意欲を引き出す授業 ・ライフデザインができる能力の育成	・生徒に希望進路実現に沿う学力や実践力を目指す。 ・「生徒が考える」授業を推進する。 ・授業外学習時間の増加を図る工夫をする。 ・相互授業見学や研究授業参加し、授業力の向上を図る。	・教科の特性を生かし、ライフデザインができる能力を育成する。 ・高大接続改革を具体的に推進する。 ・希望進路実現に果敢に挑戦する意欲の向上を図る。